



1 びん・缶・ペットボトルは資源として出しましょう

びん・缶・ペットボトルは大切な資源です。ルールやマナーを守って、びん・缶・ペットボトル集積所へ。

ペットボトルリサイクルのルール

- ・軽くすすぐ ・つぶす
- ・キャップとラベルを外す
- ☆区内16か所のスーパーに設置したペットボトル自動回収機をご利用を。設置場所などについて詳しくは、[区HP](#)をご覧ください



2 新聞・ダンボール、古着・古布は集団回収へ

区内全域で、町会・自治会などが集団回収を行っています(古着・古布は一部地域を除く)。集団回収集積場所に出してください。

☆古着・古布はリサイクル展示室でも回収。回収日・実施地域などについて詳しくは、[区HP](#)をご覧ください



▲古着・古布は必ず晴れた日に出してください

3 プラスチック製容器包装も資源です

プラスチック製容器包装とは、入れ物や包み、袋として使われているプラスチックやビニールのこと。

水で軽くすすいで汚れを落とし、ふたのできる容器か中身の見える透明・半透明の袋に入れてごみ集積所へ。



▲プラマークが目印



袋は二重にしないでください▶

4 ライターやスプレー缶などをごみに出す場合は別袋で

ライター、スプレー缶、充電式電池が取り外せない30cm以下の小型家電などは、他のごみと一緒に出すと、清掃車やごみ処理施設の火災の原因になります。

これらのごみを出す場合は、他のごみとは別の袋に入れ、中身が何かを明記して「陶器・ガラス・金属ごみ」の日にごみ集積所へ出してください。
☆スプレー缶などに穴を開けると危険です。できるだけ中身を使い切り、穴を開けずに出してください

茶わんなどの陶器も中身の見える袋等に入れて出してね



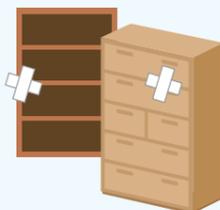
▲中野区ごみ減量キャラクター「ごみのん」

5 有料ごみ処理券は中野区のシールの使用を

事業系ごみを区のごみ収集に出す場合は「中野区事業系有料ごみ処理券」が、家庭から粗大ごみを出す場合は「中野区有料粗大ごみ処理券」が、それぞれ必要です(いずれもシール状)。他区の有料ごみ処理券は、中野区内では使用できません。

いずれも、区内のコンビニエンスストアなどの取扱店舗で購入し、ごみ袋または粗大ごみに貼って出してください。最寄りの販売場所は、[区HP](#)で確認するか、清掃事務所へお問い合わせを。

なお、粗大ごみの収集には、申し込みが必要です。[区HP](#)から手続きするか、電話で、粗大ごみ受付センター☎(5715)2255(月～土曜日の午前8時～午後7時)へ。



6 「中野区ごみ分別チャットボット」のご利用を

ごみの分別や収集日などの問い合わせに対し、24時間いつでもAI(人工知能)が対話形式で回答します。右記二次元コードからぜひご利用を。



● 問合せ先 ●

- ①②資源回収推進係 ☎(3228)5555
- ⑥ごみ減量推進係 ☎(3228)5563
- ☆いずれも松が丘1-6-3リサイクル展示室内、FAX(3228)5634
- ③～⑤清掃事務所 ☎(3387)5353 FAX(3387)5389



環境・緑化推進係/8階 ☎(3228)5516 FAX(3228)5673

お得に燃料電池自動車体験！「なかのMIRAIプラン」のご利用を

区内在住の方が対象。水素を利用し、走行時にCO₂を排出しない燃料電池自動車をお得に借りられます。利用した方は、なかのエコポイント1,000ポイントの他、「なかの里・まち連携自治体(※)」の訪問特典を受け取れます。脱炭素社会の実現のため、ぜひ体験してみませんか。

※一部の自治体は対象外

申込み先 トヨタレンタカー中野駅前店 ☎(3383)0100



◀詳しくは、[区HP](#)をご覧ください

地域の行事や勉強会で「出前講座」を活用しませんか

いずれも、なかのエコポイント200ポイントをもらえます。

●地球温暖化防止出前講座

10人以上の集まりで利用できます。詳しくは、環境・緑化推進係へ問い合わせを。

●ごみ減量出前講座

ごみ減量推進係(リサイクル展示室内) ☎(3228)5563 FAX(3228)5634

講義形式やクイズで学べるものなど、さまざまな形式に対応します。気軽にごみ減量推進係へ相談を。

繁殖期の

カラスからの被害を防ぐために

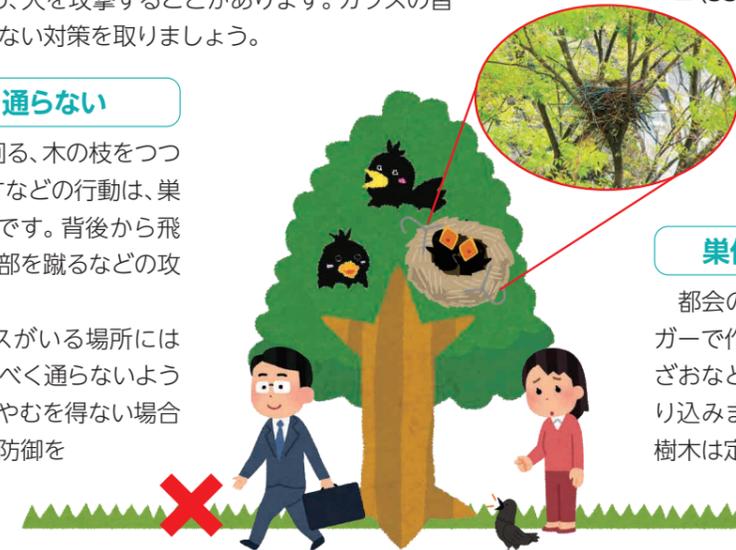
カラスは、3月～6月ごろに繁殖期を迎えます。卵やヒナを守ろうとして警戒心が強まるため、人を攻撃することがあります。カラスの習性を知り、寄せ付けない対策を取りましょう。

衛生環境係(中野区保健所) ☎(3382)6662 FAX(3382)6667

巣の近くを通らない

鳴きながら飛び回る、木の枝をついて大きな音を出すなどの行動は、巣を守るための威嚇です。背後から飛んできて、人の後頭部を蹴るなどの攻撃をすることも。

そのようなカラスがいる場所には巣があります。なるべく通らないようにしましょう。☆やむを得ない場合は、帽子や傘などで防御を



◀ハンガーなどで巧みに作られた巣

巣作りの材料を与えない

都会のカラスの巣は、主に針金ハンガーで作られます。ハンガーは物干しざおなどに固定し、洗濯物と一緒に取り込みましょう。また、葉や枝が多い樹木は定期的に枝切りをしましょう。

餌になるものを与えない

容器に付着したままのマヨネーズなど、油分の多いものはカラスの大好物。カラスは嗅覚が弱い反面、視力が非常に優れています。残飯は、目に付かないよう新聞紙などで包んでからごみ袋に入れ、容器類は、資源回収に出す前に必ず洗きましょう。また、ごみ集積所では、防鳥用ネットを確実にごみ袋に掛けてください。

☆防鳥用ネットの貸し出しについて詳しくは、清掃事務所☎(3387)5353・FAX(3387)5389へ問い合わせを



落ちたヒナには近付かない

5月～6月は、ヒナの巣立ちの時期です。翼の力が弱くと地面に落ちてしまうことも。人が近付くと、親ガラスが攻撃してきます。

ヒナが落ちていても近付かず、衛生環境係に連絡を。専門業者に捕獲を依頼するなど対応します。